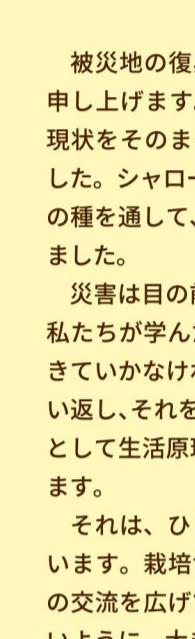


# ふくひまわり みんなをつなぐ ひまわりプロジェクト

NPO 法人シャロームは地域づくり・障がい者福祉を目的に福島県福島市を拠点に活動する団体です。「ひまわりプロジェクト」は、原発事故後の福島を支援する全国の皆様のご協力により2012年に始まりました。

このプロジェクトは震災・原発事故の教訓から、「いのち」を守り合う「共生社会」をめざす活動として継続されています。全国の皆様との絆づくり、地域間交流事業、子どもや障がい者の支援活動、草の根相互支援のネットワーク化をめざしています。



▼障がいを持つ仲間の社会参加  
B型作業所「ベーシック憩」に委託することで、障がい者支援に。  
ひまわりの種の計量・発送、ひまわり油などプロジェクト関連商品のラベリング・梱包・発送作業などを福島市の障がい者福祉包みます。

ひまわりの種はどう役立てるの?  
ひまわりの種は

ひまわり栽培を通して生まれた「思いやりのネットワーク」は全国に広がり、「第十二回ひまわり感謝祭」において、共生社会をめざす相互支援ネットワークとして連携協力していくことが確認されました。

▼相互支援ネットワークづくり  
ひまわりプロジェクトがめざすもの

## 種のご送付＆ご質問はこちらまで

シャローム  
ひまわりPJ

NPO 法人シャローム ひまわりプロジェクト実行委員会  
〒960-8141 福島県福島市渡利字鳥谷下町 67-1 (ベーシック憩内)

生活クラブ  
ひまわりPJ



担当: 杉山、宍戸

tel 070-5474-4166 fax 024-529-6902

e-mail himawari@shalom-net.jp website himawari.nposhalom.net



## NPO 法人シャローム

### 代表ごあいさつ

被災地の復興が、多くの皆様のご支援により支えられてきましたことに深く感謝申し上げます。そこには、物質的な支援と心の支援がありました。現場に寄り添い現状をそのまま伝えていただく支援は、被災者へのかけがえのない励ましとなりました。シャロームの「ひまわりプロジェクト」は震災直後から始まり14年、ひまわりの種を通して、全国の栽培協力者様のもとへ福島の現状を伝え、心の交流を紡いできました。

災害は目の前の困難と同時に、人の優しさに触れる機会ともなりました。この中で私たちが学んだ教訓は、「人は一人では生きていけない、助け合って・支え合って生きていかなければ生き残れない」という現実です。災害から14年が過ぎ、教訓を思い返し、それを改めて心に刻むとき「共生社会」の姿が見えてきます。これを「共生原理」として生活原理の原点に取り戻していくことの大切さを「共生社会」は問いかけています。

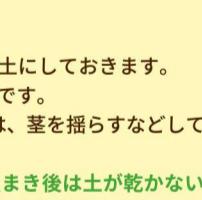
それは、ひまわりの一粒の命に優しく向き合える心を共有することから始まっています。栽培協力者の皆様からは、ひまわりの栽培が親子の会話を増やし、地域での交流を広げているという報告をたくさんいただいています。ひまわりは、枯らさないように、大きく育つようにと親子で協力し合うことを子どもたちに教え、その育てられた種は身近な生活の中での社会的繋がりを実感できる場を提供しています。

私たちは、災害からの教訓を日常生活の中で伝えていく「ひまわりプロジェクト」を育てていくことで、ともに「共生社会」をめざしていきたいと願っています。

NPO 法人シャローム 代表 大竹静子

種が  
ひまわりオイルに  
なるまで

## ひまわりプロジェクト



一年間の報告と全国の協力者様との交流イベント「ひまわり感謝祭」を開催します。

### 年間スケジュール

1~3月	4月	4~6月	7~8月	9~10月	11~12月	12月
ホームページ上での告知や全国の栽培協力者様のご紹介を通じてプロジェクト参加者を募集。	栽培協力者の方々にひまわりの種を発送	ひまわりの種まき栽培協力者様が全国各地でひまわり栽培をスタート。	ひまわりの開花・お花見各地でイベント開催や撮影など、花を楽しんでいただく。	種の収穫	シャロームへ種の返送返送していただいた種は福島県の製油所で搾油します。作業所での商品ラベリング、梱包作業を経てひまわり油「みんなの手」が完成。	一年間の報告と全国の協力者様との交流イベント「ひまわり感謝祭」を開催します。

## ひまわりの育て方

### 01 プランターの準備

- プランターは高さ 30cm くらいの深型がおすすめです。
- ひまわりの根はまっすぐ深く伸び、横根もたくさん伸びます。
- 根張りが良いと花も大きくなります。(深型でないプランターは避けください。奥行きと高さが足りず、花が小さく種の生育が難しいため)
- プランターにはたっぷりの土を入れ、良い環境をつくります。(花用培養土)

### 02 種まき

- 時期 暖地: 4月中旬 ~ 5月中旬 / 寒地: 5月中旬 ~ 6月上旬
- 種をまきます。2~3cmほど土をかけ、たっぷりの水をかけてください。
- 10日 ~ 15日ほどで発芽します。土が乾かないよう水やりをしてください。
- 発芽まで新聞紙で覆っておくと乾燥防止と保温になります。

### 03 プランターの管理

- 発芽後に本葉が出て丈が 10cm 以上になった頃、下の葉が淡い色になるようなら株周りに肥料が必要です。追肥は少量ずつ追加します。
- 土が乾いてきたら水やりをしてください。(涼しい時間帯の午前中が理想)

### 04 収穫

- 花が咲き始めて 40 日が経てばひまわりの種は成熟しているといわれます。開花日を記録しておくと便利です。
- 開花から 40 日経過後、花蕾を取り種を乾燥させてください。乾燥の際、新聞紙を敷くと乾燥が早いです。十分な乾燥は、晴天の日におひさまと風に当てるのがベスト。
- 長雨にあってしまった場合は、可能なら早めに種を花蕾から外し、新聞紙に並べて、扇風機に当てるのがおすすめです。

### 05 種の返送

- 収穫した種はよく乾燥させてください。
- 花から種を外して送ってください。ただし、収穫した種に混じる夾雑物はきれいに取り除く必要はありません。その選別作業はシャロームで行います。
- 返送用の専用封筒に種を入れ、ご氏名・ご住所を記載の上、「ひまわりプロジェクト実行委員会」(表紙の住所)へご送付ください。

### 庭や花壇で栽培される方

- 種まきの 1 週間前くらいに土を深く掘り、腐葉土や肥料を混ぜて柔らかな土にしておきます。
- 種を蒔いた日には水をかけますが、その後の水やりは自然の雨水でも可能です。
- 開花後、花のそばに花粉を運んでくれるハチがいなったり風がない場合は、茎を揺らすなどして受粉を促してください。

\* 天候が収穫を左右します。強い根や茎が育つよう種蒔き前の土作りと、種蒔き後は土が乾かないように水やりをすることが大切です。

花の大きさは  
プランターの大きさに比例します

30cm

30cm